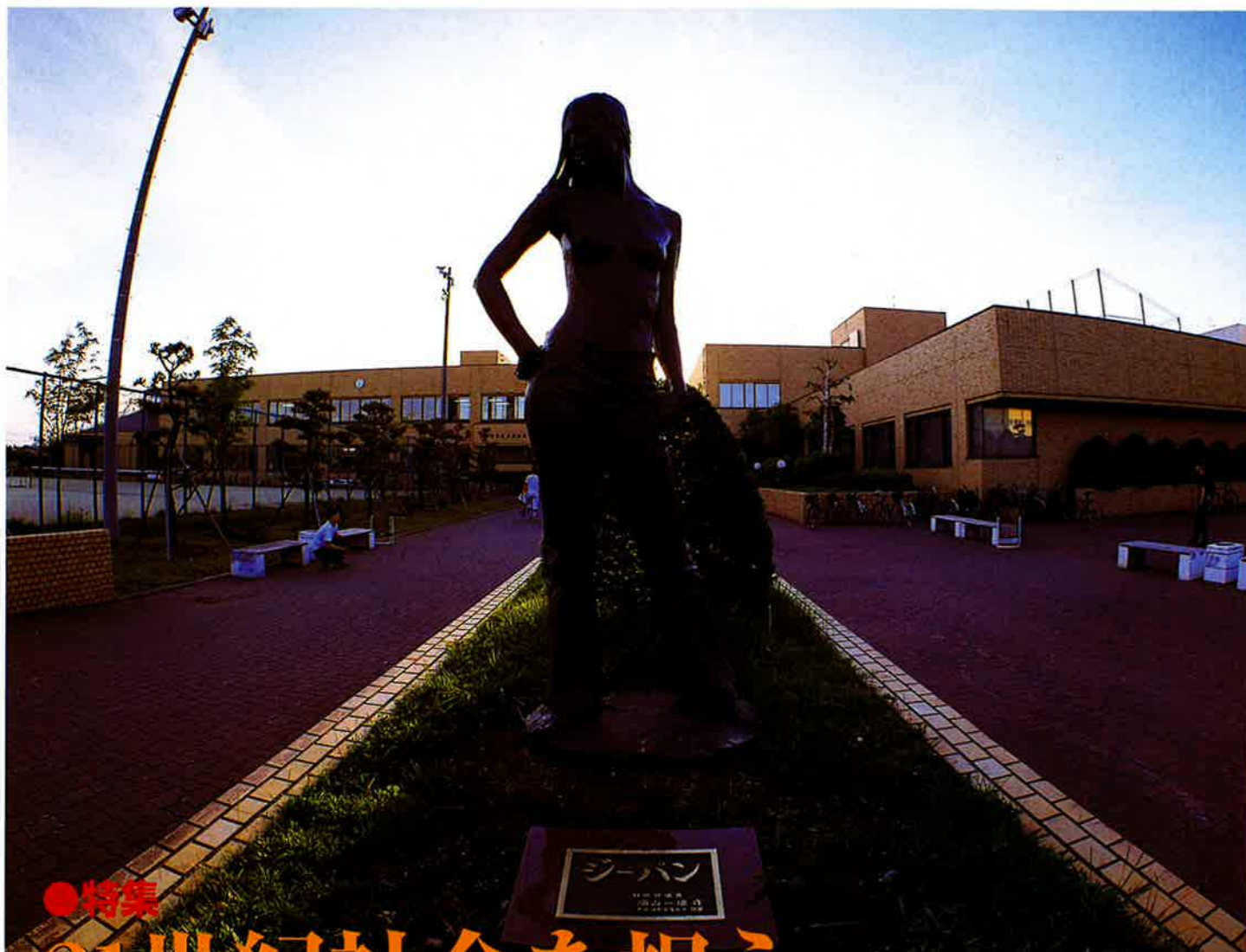


PORT SAPIE

# ぽるとぴえ

函館大学広報誌Vol.9●発行／函館大学広報誌編集事務局

1999 JUL.  
Vol.9



函館大学キャンパスに新設されたブロンズ像

●特集

## 21世紀社会を担う 諸君に期待する

●国際交流

オーストラリア・バララット大学

デービッド・ジェームズ学長が来校

平成11年度入試概況

平成11年度就職概況・展望

函館大学



函館大学校歌

親潮速き

作詩 土田秀雄  
作曲 館野信平

一、親潮速き海峡を とどろと寄する荒波も  
乗り越え行かんひたすらに 北極星を仰ぎつつ  
真理の海に棹させば 黙示ひらけて人の世の  
まことの平和あらわれん お、これぞこれ友垣を  
一つに結ぶ望みなれ 讃えんかなや我等が母校

二、融並みも霞む大平原 鵬群れ飛ぶ北の海  
尽きせぬ富を拓きつつ 担う文化の豊けさよ  
恵み傾ちてもろ人と 手に手をとらば人の世の  
楽園ここに開けなん お、これぞこれ友垣を  
一つに結ぶ望みなれ 讃えんかなや我等が母校

三、狭霧晴れゆく蝦夷松の 林のかなた郭公鳴く  
思案の朝を踏みゆけば 心開くる思いあり  
友とし学ぶ幸ありて 誠に結ぶ学園の  
道をひとすじに進まん お、これぞこれ友垣を  
一つに結ぶ望みなれ 讃えんかなや我等が母校

### 12月までの主な日程

- 7月 1日 派遣留学生許可書交付式  
受入留学生修了式
- 11日 夏期休業開始(～8/31)
- 18日 協学会地区懇談会・函館
- 20日 協学会地区懇談会・室蘭・青森
- 21日 協学会地区懇談会・旭川・仙台
- 22日 協学会地区懇談会・札幌・東京
- 23日 協学会地区懇談会・帯広・大阪
- 8月26日 公務員受験対策講座(夏期)(～8/31)
- 9月 1日 前期授業再開
- 13日 前期授業終了
- 14日 前期末試験開始(～9/29)
- 19日 学園創立記念日
- 10月 1日 後期授業開始  
就職内定公示
- 4日 3年次第一回就職ガイダンス(以後毎週月曜日)
- 15日 大学祭準備
- 16日 大学祭(～10/17)
- 18日 大学祭後始末
- 19日 3年次就職個人面談開始(～12/10)
- 11月27日 就職合宿セミナー 於：グリーンピア大沼(～11/28)
- 12月11日 冬期休業開始(～1/16)  
函館大学第18回海外研修旅行(～12/21)

函館大学  
広報誌編集事務局

〒042-0955 函館市高丘町51番1号  
TEL (0138) 57-1181 FAX (0138) 59-4575

特集

# 21世紀社会を担う 諸君に期待する

特別寄稿

「CuriosityとPunctuality」

洋伸不動産(株)会長(元東洋信託銀行 副社長)

函館大学客員教授

磯村 元史

「心に感謝と報恩の精神を」

—ペンは剣より強し—

函館大学学長

河村 博旨

現在、函館大学で学ぶ学生たちが  
本校を巣立っていく時、21世紀が幕を開けます。  
これから社会へと旅立ち、  
そして次代を担う若者たちへ、  
2人の人生の先輩からのメッセージを贈ります。

PORT SAPIE 函館大学広報誌 Vol.9

ぽるとさびえ

「ぽるとさびえ」は、ラテン語のポルトス(港や門を意味します)とサビエンティス(知恵や英知を意味します)を参考にしてつけられた題名です。皆様のご支援と叱咤激励により、親しみやすさのなかにも、大学らしい英知の香を漂わせる誌面づくりを心がけてまいります。



C O N T E N T S

特集

## 21世紀社会を担う 諸君に期待する

1

CuriosityとPunctuality 洋伸不動産(株)会長 磯村 元史

心に感謝と報恩の精神を

—ペンは剣より強し—

学長 河村 博旨

オーストラリア・バララット大学

デービッド・ジェームズ学長が来校

5

平成11年度派遣留学生決定

7

平成11年度入試概況

8

北から南から 出身校紹介

10

聴講生紹介

11

読書は人生のバイブル 前図書館課長 川島 孝夫

11

平成11年度就職概況・展望

12

同窓生を訪ねて「(株)五島軒」

14

読書テーブル

15

教職員プロフィール

16

ゼミナール訪問

18

研究室から

19

函館 A Sketch of Hakodate

20

私の函館散歩、いい店食べ歩き

函大ing

クラブ戦績

22

クラブ紹介

22

インターンシップ

24

人生の先輩から (財)東洋信託文化財団事務局長 蓮間 従道

24

著書紹介

25

教養講座・健康講座

26

公開講座案内・学友会だより

27

地元企業を訪問

株式会社オーディンフーズ

28

野又学園プロフィール

函館自動車学校

29





函館大学の広報誌『ぼるとさびえ』(英知の港を意味する造語)も、第九号です。編集の実務担当者である黒沢幹生、大山紀明、川島孝夫、小澤 叙の歴代の各課長と、大江田清志、赤松 潤、高月 晋の歴代の担当委員長はじめ関係の方々には、特に草創



函館大学学長  
河村博旨

## 心に感謝と報恩の精神を —ペンが剣より強し—

の苦心があり、苦勞があったことと、感謝し、敬意を表したく存じます。記録として残す活字文化や映像、絵画文化の伝統や慣習のない民族や組織団体の衰退の歴史は、悲惨な結果となることは、少数民族の歴史が証明しておりま

す。アメリカの原住民とユダヤの民族とを比較する必要はないかと存じます。百年余りの歴史しか有さない日本の大学社会においても、伝統を誇る有名大学では、早くから、三田文学、早稲田文学、帝国文学という雑誌を創刊しております。評論家、小説家、ジャーナリスト、学者などを数多く輩出して、今やマスコミと称される情報社会を支配するほどの影響力を保持する大学となっておりま

す。一、ペンが剣より強し (the pen is mightier than the sword) と言ふ名言もあります。国家も企業も家庭も、人間の集団組織です。財政や財務や家計も、活字 (ペン) で記録して管理運営せざるを得ません。校友会も同窓会も同じです。



## Curiosity & Punctuality



洋伸不動産(株)会長  
(元東洋信託銀行 副社長)  
函館大学客員教授  
磯村元史

「知」とか「徳」について、正直なところ私はこれまでほとんど意識したことがありませんでした。これからについて語る資格は、あまりないと思っております。ただ、折角の機会を与えられましたので、「知・徳」の入口らしきもの、周辺部分と思われるものにつき、近く社会人となられる皆さん方に、表題の二つの言葉を進呈したいと思ひます。

どこかに共感を持って頂ければ幸いです。そのひとつは、「好奇心を持ち続ける」ことです。幼児や小学生が、「どうしてウチの犬は笑わないの?」というアレです。学生の皆さんなら、さしづ

### ”なぜ”という質問を 納得するまで繰り返す

め、「この不況下なのに、このA会社の採用予定者数は、どうしてこんなに多いの?」というふうなものでしょうか。このように、「好奇心」とは、一見当り前のように思われている事柄・情報や、逆に、特異に見える事象に対し、「なぜ」という疑問を納得するまで繰り返し発することにより、物事の意義・背景・本質を体系的に見極めようとする。若さの持主“にのみ許された特権である。私は思っております。

さて、先程のA社についての疑問を先輩にぶつけてみました。先輩曰く、A社のような場合、みせかけの採用予定数を掲載する、というのは誤外として、一般的には、

### 時間・期限を守るのは 信頼関係の基本

もうひとつは「時間・期限を守る」ことでもあります。社会には、ビジネスの場であれ、家庭・学校であれ、友人関係や趣味の世界でも、それぞれに数多くの約束ごと・ルールがありまし



る学生の皆さん方にとっては、大したことはないように思われるかも知れませんが、この二つの持ち合わせがないため、疎外感を味わっている人がこの世の中には意外に多いのです。双方とも習慣で身につくものだし、身につけておいて邪魔にもなりません。

りまして、「機会利益」と「相手からの信頼」の双方を同時に喪失すると共に、時間・期限を守らなかったことに伴う事後措置に、それなりの手間と負担を必要とするようになります。場合によっては、相手方に多大の迷惑をかけることもあります。時間・期限にルーズな人は、えてして段取りや手順の良くない人、計画性のない人で、こういう人達は概して、社会の他の約束

ごと・ルール(いわゆる社会規範)も守れないため、社会人としての適格性を疑問視されたり、誠意のない人と思われがちなのです。これに対して、時間・期限を守ろうとする人は、それなりの努力は必要でしょうが、予定した機会は十分利用することができ、上、相手方・周囲からの信頼増加にもつながります。ただ世の中、「万が一の不測の事態により、時間・期限に間

に合わせられないこともあります。このようなき、所定の時間・期限の前に、おわびやお断りをしつつ、時間・期限の再設定やその他の事後措置を当方から講ずる。この誠意の示し方が重要であることは、申すまでもありません。時間・期限は守って当然、とご理解下さい。そして、できるだけ、五分钟前一日前を心がけて下さい。以上、Curiosity & Punctuality、たいいていことは大目に見て貰え

る学生は、五月二十日まで……」(ロ)ローンの返済期限は八月末日とし、その期限までに返済なきときは……(ハ)「どうしても会いたい。明日夕方六時、晩ご飯どう?」などです。ところで、もしこれらの時間・期限を守らなかったらどうなるのでしょうか。前のそれぞれの例で言いますと、(イ)入社試験が受けられない、(ロ)返済不能に見合うペナルティなど不利益が課せられる、(ハ)デートの相手を失う、とな

て、これらの約束ごとをお互いが守っていくことで、当事者が一定の安心感をもって社会行動ができる仕組みになっております(例えば、交差点で赤信号なら止まる)。これらの約束ごとの中の基本的なもののひとつが「時間・期限を守る」ことでありまして、我々社会人の、将来に向っての社会行動にはほとんどの場合、時間・期限の要素が条件として盛り込まれております。



函館大学の海外姉妹校の一つであるオーストラリア・バララット大学の、デービッド・W・ジェームズ学長が、6月10日～12日の3日間、函館大学を訪問されました。学内見学や理事長・学長・教員との会談など、忙しいスケジュールの中、同伴したアイリーン夫人とともに函館観光も楽しんでいかれました。

## オーストラリア・バララット大学 デービッド・ジェームズ学長が来校

わが三日月間の滞在で、  
友好はさらに深まる。

ジェームズ学長夫妻は、六月十日の午後に函館到着。空港からすぐに函館大学に入り、理事長・学長及び国際交流委員の教職員とあいさつを交わし、学内を見学。その後、湯川のホテルに入り会食を行い第一日を終えま

した。第二日目は、国際交流委員との会談のあと、昼食は交換留学生を含めてのウェルカムパーティ。バララット大学からの留学生や、この秋函館大学からバララット大学へ留学する市瀬祐樹くんと顔を合わせました。その後は、函館市長を表敬訪問、そして市内を観光し函館の夜景を楽しみながらの懇談会が行われました。第三日目は大沼観光を楽しみ、夕方函館空港を発つという忙しいスケジュールにもかかわらず、ご夫妻は函館大学の歓迎に終始笑顔で過ごされていました。

昨年は、函館大学から河村学長と田中弘樹先生がバララット大学を訪問し、そのお礼の訪問という形になったことに関して、「昨年は私たちが大変な歓待を受け、そのお返しができることはとても嬉しい」と河村学長も感激の面もみられました。デービッド学長も、河村学長との再会を心から喜び、短い滞在期間ではありましたが、お互いの今後のさらなる交流を確認しあいました。



活字で文章化されて示されます。国の憲法も、会社の法律も定款（ていかん＝基本規則）も、活字で文章化されております。法治国家として当然です。

各種スポーツの競技のルールも活字で文章化されております。長々と書きましたが、活字で文書として記録する伝統や慣習、習慣のない民族も国家も宗教団体、あるいは各種の組織団体も家族も一族も、永続性のある組織の維持、発展は期待できない、と言いたいです。

そして、哲学も思想も、宗教も、学問や、科学も技術も、活字を駆使しての記録の手段を欠如しては、広く永く浸透し、活用されることもあり得ないことを改めて強調したいのです。

二、邪馬台国の女王と称される卑弥呼（ひみこ）の歴史も、三内丸山遺跡（青森県）やその他の遺跡などの歴史も、文学や活字で示す資料があれば、解明も容易になります。しかし、わずか千数百年の昔の歴史すら曖昧な我々の祖先の歴史です。いえ、我々個人の祖先の歴史も、わずか四、五代の昔が不明な場合が多いのです。

今現在の生活を享受するためにも、同世代の横の関係で、自由に競争する自由主義を謳歌し、快楽と享楽に陶酔して、過去の先人先輩、先祖の人々の苦

心や苦笑を忘却しかねない今の人間社会かも知れません。そして、将来を忘れ、未来の子や孫や後輩たちのことを無視、軽視した自らの物質的な快楽を追求することに汲々としている今の我々の世代かも知れません。

活字で文章として、写真や図形で映像文化として、我々の希望や夢や目標と現実の失敗や挫折や苦心や苦難の現実の克服努力の事実をも記録として残す。先人、先輩、先祖の人々の苦心や苦闘の歴史も認識し、感謝し、将来、未来の子や孫や後輩の人生の幸福をも願って、今現在の我々の世代の使命や責任を日々誠実に勤勉に謙虚に、感謝と愛と奉仕の精神をもって実践躬行し続ける。その苦悩や迷いや苦心の姿をも堂々と活字にして記録として残す。

こういう歴史の中の縦（たて）系列の中での我々の使命や責任の自覚も認識も必要不可欠のことと存じます。

三、ここに至れば、やはり、感謝と報恩の精神を心の底から呼び醒ますを得ません。

家族や家庭では、両親、父や母、そして祖父や祖母の苦労や苦心に感謝し、伯叔父母や兄や姉や弟や妹に対しても、感謝と敬意と愛と奉仕の精神を忘れることはできません。

大学においても、会社や国家

や各種団体組織においても、人類社会全体の組織においても、先人先輩、先輩の苦心や苦闘の歴史を誠実に謙虚に認め、感謝と敬意の念を日々新たに、今現在、今日の我々の使命と責任とを勤勉に誠実に実行せざるを得ない心境となり、実践し、躬行する。これが、我々一人一人の使命であり、責任である。平和で円満な家庭も大学も各種組織も維持、発展する基本的条件としての「感謝と報恩の心」と「実践躬行の現実生活」と存じます。

四、そうすれば、正邪善悪の判断の基準の確認も、日々の日常生活の中で自然と無意識にできるものと存じます。そして、時々折々には、聖書や聖典や先人先輩の残した名言名句や父や母、祖父や祖母、あるいは師や先輩の忠告や助言の言葉も思い起こして、ノートや日記に記入し、感謝の心をもって反省し、明日一日の計画をも再確認する。こういう夜も多くなるものと存じます。





### ●ホストファミリーを募集●

函館大学では、国際交流推進の一環として、ハワイパシフィック大学（アメリカ・ハワイ州）、ニューカッスル大学（オーストラリア）、バララット大学（オーストラリア）の三大学と姉妹校提携を結び、交換留学生の事業を行っています。

現在、交換留学生を受け入れるためのホストファミリーを募集しています。受け入れには、安心してホームステイできる家庭が必要です。ボランティアによるホストファミリーとしてご協力いただける方がおられましたら、ぜひご一報下さい。

連絡先／函館大学総務課 大山 紀明  
☎(0138) 57-1181 (内線103)

そのバララット市には、オーストラリア南部のビクトリア州のほぼ中心に位置し、約九万人の人口を有するオーストラリアで最も古い都市の一つです。



函館大学のその他の姉妹校  
アメリカ・ハワイパシフィック大学 昭和五十八年姉妹校提携  
オーストラリア・ニューカッスル大学 平成八年姉妹校提携

バララット市は、オーストラリア南部のビクトリア州のほぼ中心に位置し、約九万人の人口を有するオーストラリアで最も古い都市の一つです。

メルボルン市からは高速道路または鉄道で一時間の距離にあり、メルボルン市の都市機能の一部を担っています。

国際交流委員長 助教 高橋 真

## オーストラリア・バララット大学の紹介

伝統ある大学ですが、先端的教育研究機関としてもオーストラリアでも重要な大学の一つになっています。

函館大学とは平成九年に姉妹校提携を結び、留学生の交換を行うなど交流を深めています。

### 平成十一年度、派遣留学生が決定！

#### ●オーストラリア・ニューカッスル大学へ



塩崎 綾子さん  
(二年・函館城北高出身)

#### ●ハワイパシフィック大学へ



浦山 一深くん  
(三年・福島県郡山商高出身)

#### ●オーストラリア・バララット大学へ



市瀬 祐樹くん  
(二年・山梨県駿台甲府高出身)

### 海外生活を体験できるチャンスを生かしたかった

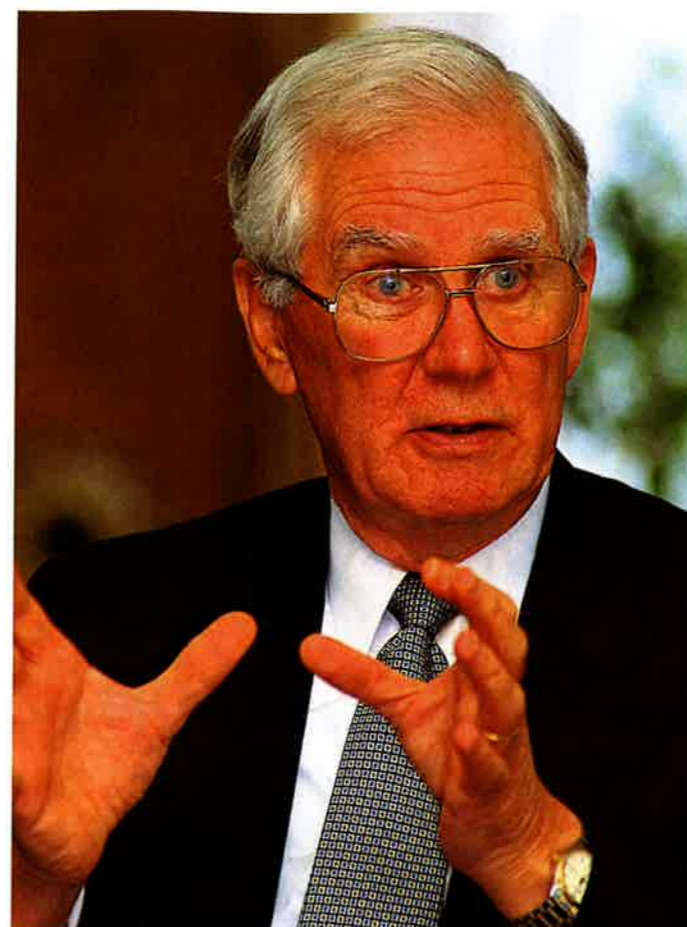
一年生の冬に、イギリス・イタリアへの研修旅行に参加し、外国への興味が強くなりました。そして、交換留学生の募集があったとき、海外で勉強できるこのチャンスを生かしたいと思い応募しました。もともと英語の勉強は好きだったので、オーストラリアで生きた英語を勉強できるのはとても楽しみです。留学が決まっても僕らは、英会話学校に通ったり、函館大学に來ている留学生と話したりして、留学の準備をしています。将来のことは、まだ具体的に決めていませんが、英語を活かせる仕事に就きたいと思っています。オーストラリアに行く頃、まだ向こうは冬なので、好きなスノーボードもやってみようと思います。

### 一年間の留学中、アメリカの税理士資格を取りたい

僕は、ハワイパシフィック大学でも会計学を専攻し、留学中にアメリカの税理士資格を取ることが目標にしています。もし留学中には無理でも、帰国後もアメリカ大使館を通じて受験が可能なので、絶対に資格を取るつもりです。それから、日本の税理士資格も目標にしています。現在は、就職は銀行を志望しています。働きたいからでも勉強を続け、税理士資格をめざし、資格が取れば独立するのが夢です。日本とアメリカの資格があれば、どちらでも仕事ができるし、世界に通用する人間になることが夢なんです。

### 海外留学は、入学の時から希望

海外留学は高校生の時から興味があり、函館大学へ入学するときに、海外留学を一つの目標にしました。海外で一年間過ごせるなんて、学生のうちでないとできない経験だと思います。外国の文化や習慣などは、その国で暮らすことが一番の勉強だと思います。



## デービッド・W・ジエームス学長 ●インタビュー●

「函館大学とバララット大学の提携の意味はどこにあるとお感じですか？」

「どの大学も同じですが、これからは国際的な関わりを広げることが大変重要です。その中で、バララット大学と函館大学は地方都市の大学として、大都市とは違う環境の中で、同じような経験をしようという意図があると思います。共に若い大学なので、お互いに独自性や新たな可能性を探りながら、それを参考にしあうことが

長でできればと思います。」

「今後、両校の交流にはどのようなことをお考えですか？」

「現在は留学生を交換し合っていますが、今後は学生だけでなく、教員の交換もできればと思います。短期・長期の教員交換をですね。また、インターネットを通じて、修士課程のプログラムを交換し合うということも考えられるのではないのでしょうか。」

「函館大学を実際に見ての感想は？」

「教育設備がたいへん充実しているのには驚きました。教育環境もそうですが、周辺のロケーションも素晴らしい、このような環境の中で勉強できる学生たちは恵まれていると思います。」

「バララット大学からの留学生に期待することは？」

「留学生には、両校の良き外交官の役目を期待します。函館大学での経験を、人生に有効に役立ててほしいですね。そして、将来は国際間の理解に役立つような人材になってくれることを期待します。」

「では最後に、函館のまちはいかがですか？」

## 永く続けることが、なによりも大切！

函館大学学長 河村 博旨



「函館に來る前に、広島に寄って広島城などを見てきました。私個人としては日本の歴史的名ものに興味があるので、函館では五稜郭を見たいと思っています。」

「また、世界的にも有名な函館の夜景は、本当に素晴らしいですね。妻も感動していました。機会があればぜひまた來たいと思います。最後に、函館大学の皆さんの歓迎、お心遣いに心から感謝いたします。」

「函館大學から、この秋、三校の姉妹校にそれぞれ一名ずつ派遣されます。海外留学を希望する学生の中から選考を行い、次の三名が留学生に決定しました。九月から一年間海外の大学で勉強する三人に、その豊饒を聞いてみました。」



# 希望を胸に全国から三百六十九名が入学

今年四月、まだ寒さの残る函館に、熱い希望を胸に秘めた新入学生たちが函館大学の門をくぐりました。  
今年度は、全国から三百六十九名が入学。その中から、函館大学独自の入試制度を活用し入学してきた学生の声を紹介します。

入試委員会委員長・助教 今井 敏博

## 平成十一年度 入試概況

### 魅力ある大学づくりに向け 受験生の心に響く入学試験を実施

函館大学は、「若い頃に未知の土地で学び、仕事をし、自己を成長させたい」という意欲と活力のある学生のための門戸を開放、個性と自主性を重んじた入学試験を実施しています。希望に燃え、全国から馳せた諸君の熱き思いは、四年間の函館と函館大での貴重な時間の中で燃焼し、人生へのステップを可能にすることと思えます。一人一人を見つめる目が、新しい個性を発見、「生きる」ことの時間が始まります。そのスタートが本学の入学試験です。

しています。

「国語」「英語」「数学」「簿記」「日本史」「世界史」「政治・経済」の中から、試験科目に実際に問題を見てから、受験科目を選ぶ方式です。

### 成績プラス課外活動で 人間を見る

「推薦入学試験（一般）」で、「課外活動等業績評価制度」を取り入れています。これは受験者の学業成績の他に高校での課外活動を加味して、個性や内面を見ていくことを目的としたもので、高等学校長の推薦書その他に、「課外活動等業績証明書」を提出します。

### アラカルト方式による 科目選択制

受験生の個性と自主性、そして本学で学びたいという意欲に応えて、独自のアラカルト方式を採用

### 学びたい意欲に応える 自己アピール入学試験

一九九九年より導入した方式です。本学の建学の精神に賛同し、

### アラカルト方式

### クラブ活動終了後から、得意科目に集中して受験勉強。

工藤 大樹くん（二年・秋田県能代高出身）



僕は野球部だったので、高二的の夏までクラブ活動を続け、本格

的に受験勉強にとりかかったのは九月からでした。でも、それからの短期間で苦手な英語の克服は難しいと悩んでいた頃、受験情報誌で函館大学のアラカルト入試のことを知りました。得意科目二科目で受験できるこの制度を知り、気持ちが楽になると同時に、受験科目をしぼって集中的に勉強できました。僕のように、ク

### 自分でホームページを作成、自分のやりたいことをアピール。

佐藤 洋平くん（二年・札幌平岡高校）



自己アピール制は、一般試験のほかに、自己アピールや志望動機を書いた作文と面接があります。僕の場合は、高一からパソコンを始め、自分でホームページ

め載せているのですが、これまで約一万三千件のアクセスがあります。そして、大学ではマーケティングを勉強したいことなどをアピ

ールしました。それから、学園訓の「実践躬行」の言葉を知り、大学で身につけた知識を実社会で活かせる人間になりたい、と面接で話しました。自分の勉強したい分野がはっきりしている人には、自己アピール制度は大きなプラスになると思います。

### スポーツカテゴリー

### 好きで続けてきたスポーツが大学受験に役立ち嬉しく思っています。

山崎 明香さん（二年・新潟県西新発田高出身）



私は高校から少林寺拳法を始め、高二的の時に全国大会に出場

しました。高三になって進路指導が始まったときに、先生から函館大学を推薦されました。スポーツカテゴリーは推薦入学枠なので、選考は書類審査と実技、面接でした。自分が好きでやってきたスポーツが大学受験に役立って、一生懸命やってきて良かったなと思いました。入学後は、もちろん少林寺拳法部に入

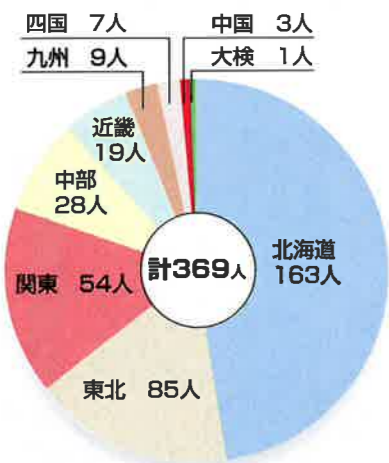
### 奨学生としての責任を持って目標に向かって勉強します。

板垣 美子さん（二年・札幌東商業高出身）



とにかく合格することを目標にしていたので、特別奨学生という

お話を聞いてビックリしました。特別奨学生は入学金と四年間の授業料が免除となるそうです。函館大学を志望した動機は、母が自宅で税理士事務所を開業しているの、私も自然と税理士をめざすようになったからです。そのために在学中に、簿記一級の資格をとろうと思っています。私は商業高校でしたから、簿



### 課外活動等 業績評価対象の拡大

本学のすべての入学試験には、

### スポーツカテゴリーによる 推薦入学

入学を強く希望する者に広く大学教育の機会を当てるため、自己アピールの内容により選考するものです。自分の興味ある分野を深く学びたいという意欲に応え、自己アピール書を評価のポイントに加算する方式です。



課外活動・生徒会活動・奉仕活動・各種大会出場と入賞歴・各種検定試験等の課外活動等業績評価ポイントが加算されます。

### 学業優秀者への 特別奨学生制度

第一期入学試験において「特別奨学生」を希望する成績上位者の面接を行い、選考します。特別奨学生には、入学から卒業までの学費（入学金・授業料）を奨学金として給付します。

### 平成十一年度の 入学者都道府県別内訳

五八%が本州出身者を占める全国型大学の特徴を示しています。

創立明治十九年、現存する道内最古の公立校

北海道函館商業高等学校

函館市昭和一丁目十七番一号

創立明治十九年、百十余年の歴史を持つ函館商業高校は、現存する北海道の公立学校では最古のものである。明治十九年に、当時札幌と函館にあった師範学校が統合され、札幌に北海道師範学校が創立された。それに伴い、函館師範学校の校舎を転用し、函館商業学校が設立されたのがそのルーツです。全日制とともに、定時制も明治三十六年から設けられ、現在に至っています。

以来、明治・大正・昭和・平成にわたり、三万人以上のぼる卒業生を輩出してきました。百十余年の歴史の中で特筆すべき事件は、明治二十八年に函館商業学校は函館尋常中学校に商業専修科として併合されました。しかし、旧函館商業学校の教師・生徒・同窓生が一九二〇年として独立運動を起こし、ついに四年後の明治三十二年七月一日に再び函館商業学校として開校したのでした。同校ではこのことを歴史に永くとどめるため、この日を開校記念日と定めています。こうした自主自立の伝統精神が、学業・クラブ活動に今なお生きている。



文武両道、多彩なコースを持つ進学校

青森山田高等学校

青森市浜田板橋二十三番

「誠実、勤勉、純潔、明朗」を校訓とする青森山田高校は、生徒一人ひとりの個性や、将来の希望を活かせるよう、多彩な学科・コースを設定しているのが大きな特徴です。

普通科には、大学進学をめざす「特進コース」、社会人として知識・教養に重点を置いた「教養コース」、体育系大学やスポーツ選手をめざす「体育コース」、国際感覚を身につけレジャー産業への就職をめざす「国際観光コース」。その他に自動車科、情報処理科、土木建築デザイン学科、調理科と、進学・就職に直結した実践的教育が行われています。また「特進コース」に関しては全寮制を採用し、一人一部屋、規律正しい生活の中で勉学に集中できる環境を整えています。

またクラブ活動も盛んで、運動部三十六クラブ、文化部十七部があります。運動部では、中でも甲子園大会出場経験を持つ野球部をはじめ、体操、陸上、サッカー、卓球、水泳など、どのクラブも県内トップレベルの実力を誇っています。

将来的には、中高一貫教育の導入をも視野に入れ、総合的な人格教育をめざしています。



能力・可能性を育てる開かれた学園

堀越高等学校

東京都中野区中央二丁目五六番二号

堀越高校の歴史は、大正十二年に「和魂洋才の理念」を掲げた堀越高等女学校の創立に始まります。そして戦後の学制改革により、昭和二十三年に堀越高校となりました。

教育の特徴としては、個人の個性・能力を伸ばすことを目的に、コース制を早くから導入していることです。現在、大学進学に的を絞った「進学コース」、進学・就職のどちらにも対応できる「進路選択コース」、体育系大学やスポーツ選手をめざす「総合体育コース」、芸術活動と学業の両立を可能にした「総合(RA)コース」、語学・国際教育に重点を置いた「総合国際コース」、そして「総合育英コース」があります。

スポーツの面でも全国的に知られ、特に野球部は幾度も甲子園出場を果たし、昭和四十四年の選抜大会では準優勝に輝きました。また男子庭球部は、幾度も全国制覇を果たしています。こうしたスポーツ活動の環境整備のため、八王子市に陸上競技場、野球場、室内体育館などを揃えた総合体育施設が建設されています。

その他、昭和二十九年から生徒会によって続けられている「郷友会」や「インターアクトクラブ」など、ボランティア活動も盛んに行われています。



聴講生紹介

仕事を定年退職後の聴講生に。学生時代好きだった英語を何十年ぶりに勉強。

船井 康夫さん(六十五歳)



平成八年まで、地元金融機関に勤めていた船井さん。定年退職後に、「学生時代好きだった英語を、もう一度勉強したい」と函館大学の聴講生となりました。

ある日、家の中を整理中、息子さんが高校時代に使っていた英語の教科書が出てきて「自分の高校時代は、戦後間もない頃で英語はとても新鮮なものでした。当時も好きだった英語をもう一度勉強したい」と思ったそうです。

その後、ラジオ講座を聴いたり、英会



話教室に通ったりしたそうで、その中で函館大学が夏休みに行っている社会人対象の「英会話講座」を受講。そこで、函館大学の聴講生制度を知ったそうです。



「若い学生

の中にいると、自分まで若い気分になりますね。とっても楽しいですよ。まだまだ老け込むには早いからですね。退職したら何もすることがない、という人もいるかもしれませんが、やっぱり何か楽しみを持たないと。私の場合、英語を勉強することで、毎日の暮らしにもハリ

があります。やりたいことを持ち続ける、

それが生きがいにつながるのではないのでしょうか。

船井さんの大きな楽しみの一つに、毎年行く海外旅行があります。「海外で英語が役立つのはもちろんですが、英語圏ではない国に行った場合の会話はやっぱり英語なのです。例えば中国に行ったら、こちらは中国語は分からない、向こうも日本語が分からない、すると会話は英語です。英語は世界の共通語、というのを実感しました。」

生涯学習がいわれて久しいですが、まさに船井さんは生涯学習を実践しているといえます。大学もまた、地域に生涯学習の場を提供していかなければなりません。函館大学は、聴講生制度のみならず、公開講座などで地域に開かれた大学づくりを目指しています。退職後に再び勉強し、生きがいづくりに励む船井さんは、きっと学生たちに無言の教育をしてくれているのでしょう。

読書は人生のバイブル

～学生生活に図書館での時間を～

前図書館課長 川島孝夫



小中学校の教員時代、先輩から「実務書以外に一般教養に関する本を読むように」と勧められることが多かったが、実務に追われ即戦力となる教職関係の実務書が読書の中心になった。

しかし、安サラーで苦勞し手に入れたこれらの実務書も、退職と同時に記念物に過ぎなくなってしまう、狭い書架を整理しようとしたら書架は空っぽ、残るのはせいぜい辞書・事典ぐらいが本らしい本でしかなかった。なにか「お前はもはや脱け殻だ」と宣告されているような淋しい気持ちになってしまった。

一般教養書に接することの少なかった人間は、自分がそうであったように視野の狭い決まりきった発想の持ち主が多かったような気がする。それは、仕事に幅がなく期待以上の結果を望むことは勿論無理であり、通俗的なことしか話すことの出来ない生まれたまま大人になったという感じがする成長度の低い人間と周囲から評価される。

一般教養書を読む人は、人間の幅や厚みが増し、それが仕事に反映されてくる。例えば、企画をたてる時にはかなりの独創性が必要とされるが、実務書で得た知識だけで取り組んでいたのでは先例踏襲の域を脱することの出来ない企画しかたてることが出来ないのは当然であろう。それに反して一般教養書をよく読んでいる人は、年中知的の世界を遊泳しているようなものでそれが企画に好影響を与えないわけはないはずである。

いま、辞書・事典の類しか残らない書架を眺め、平素から一般教養書に親しんで買っただけで置けば自分の再読を待ってくれるのに後悔の多い思いでいっぱいである。厳しい入試勉強を経て読書疲れしたのか、残念なこと最近の学生諸君はあまり図書館を利用してくれない。生活を楽しむ時間割の一部に図書館での一般教養書を楽しむ時間を加えていただき、是非、将来の自分に備えてほしいものである。

# 就職概況・展望

函館大学の平成十年度就職実績は、四年制文系学生の全国平均を上回り、厳しい状況下での学生の健闘が光りました。そして、すでに平成十一年度の就職活動が本格化しています。昨年度の総括とともに、今年度の採用企業側が求める人材とは、などについて就職部長の大江田教授が展望します。



就職部長・教授 大江田 清志

## 不況下での健闘

今春の卒業生の就職戦線は、月を追うごとに経済不況が深刻化するという厳しい環境に見舞われました。国内総生産(GDP)は、二年連続してマイナス成長となり、企業倒産・リストラなどによって、失業率は戦後経済復興後の最低水準を何度も更新することになりました。

このように、きわめて厳しい経済・景気動向のもとでの就職戦線でありましたが、本学の平成十年度就職実績は、文部省統計基準による就職内定率九二・三％(前年九三・〇％)を確保す

ることができました。この実績は、文部・労働省調査による四年制文系学生の内定率九一・三％(前年九二・七％)を上回っており、本学学生の不況下での健闘が評価される就職戦線であったといえます。これも、学生の努力はもとより、関係各位によるご支援のたまものと感謝申し上げます。

## 「業界研究会」をはじめとする多様な就職支援策

本学では、学年年次別に多様な就職支援策を講じています。とくにクリティカル・ステージにある三年生に対しては、就職活動キッ

クオフ・イベントともいうべき三時間バージョンの就職講演・ガイダンスをはじめとする多様なメニューの就職支援策を実施しています。これによって、就職意識の高揚と就職活動スキルの向上がはかれます。さらに、実践的なスキル・アップをねらって「就職合宿セミナー」「公務員試験対策講座」「就職インターネット講座」などが併設されています。また、四年生に対しては、本学主催の「業界研究会」を設けています。ここでは、六十社を超える各界一流企業の採用責任者にご参加をいただき、学生に対する企業・業界説明や面談が企業を単位におこなわれます。



## 求められるオンリーワン型人材

ところで、産業界の採用意欲は、景気が足踏みを続けるなか、いまだ冷え込んだままです。日本経済新聞社の調査による企業の本年度における新卒採用計画は、前年実績比一九・六％減と、二年連続で二けたの減少となっています。採用予定者数はバブル経済崩壊後の最低水準で、平成十一年度の就職戦線は、依然として楽観を許さない状況にあるといえます。

先行きが不透明な時代には、ナンバーワンよりもオンリーワンを目指す企業が多くなるよう



本学主催業界研究会

です。この時代に企業が求める人材像は、「自ら光放つ恒星型」、「人間味ある個性派」、「調和のとれた国際人」、「柔軟かつ頭の専門家」などに代表されます(朝日新聞の就職特集・社長が語る「こんな人が欲しい」)。新卒者就職市場でも、時代はオンリーワン型人材を求めています。

企業の採用活動が早期化し、卒業の一年も前に就職内定が出されることも希少でなくなりました。実質三年たらずの学生生活で、学生は自ら光放つ個性を磨き上げなければなりません。したがって、自らの職業観を早めに確立し、それに見合うキャリアをつくるべく必要ができてきているといえます。

## 平成十一年度就職戦線に向けて

## 就職合宿セミナー開催!

平成十一年度の就職戦線に向けて、就職部では昨年の秋から様々な支援策を展開しています。その中の一つとして、昨年十二月に三年生(現四年生)を対象にした「就職合宿セミナー」を初めて開催しました。この「就職合宿セミナー」

## ●就職合宿セミナーに参加して自己アピールポイントの整理ができ就職活動がスムーズになりました。



金子 洋  
(四年・千葉東京学院出身)

この合宿セミナーに参加したのは、実は就職活動はどういうものか聞いておこう、という軽い気持ちからでした。ところが第一日から、企業訪問や電話でのアポイントの取め方、面接などの



これが整理できたことで、履歴書を書くときも、面接の時も自分をアピールできるのではないかとちょっと自信ができました。

就職活動としては、年明けからすぐに資料請求を始め、二月には札幌で行われた合同説明会にも参加しました。現在も、希望業種を絞り込み、様々な説明会に参加しています。合宿セミナーに参加したことで、早い時期に自己分析をして、様々な模擬体験をしたことで、少し余裕を持って就職活動を進められています。

(株)五島軒

営業部長 小久保 明 (十三回生・昭和五十八年卒)  
 営業部 榎本 選司 (十三回生・昭和五十六年卒)  
 営業部 中村 隆 (十二回生・平成二年卒)  
 サービス 北川 敦 (十三回生・平成三年卒)  
 サービス 工藤 真史 (二十九回生・平成九年卒)



創業明治十二年の五島軒は、最初ロシア料理とパンの店として開店。北海道の洋食の発祥と言っても過言ではありません。  
 「五島軒は今年で創業百二十年を迎え、また函館大学同窓会も今年設立三十周年を迎えます。その函大同窓会の三十周年パーティーを、当店で開催していただくことになり、私としては



小久保 明さん  
(十二回生)



榎本 選司さん  
(十三回生)

すね。

「二重の喜びです」と榎本さん。伝統ある五島軒に、全国から函大OBが集まり、きつと周年記念にふさわしいパーティーとなることでしょう。  
 現在、五島軒には函大卒業生九名が働いています。その中から、五名の方が忙しい合間をぬって集まっていただき、函大時代の思い出を聞かせていただきました。  
 まず、婚礼や宴会などの営業を担当する榎本さんは、「やっぱりクラブ活動が一番の思い出です。私は卓球部だったので、同時にハンドボール同好会も掛け持ちでした。そして、私の在学中に松先生(ハンドボール部監督)がいらして、部へと昇格しました。現在、函大ハンドボール部といえど道内では負け知らず。その創部時のメンバーだったのを、今では誇りに思います」  
 詩集を市内の喫茶店などに売り歩いたものです。文芸部は今もあるのかな? (残念ながら、文芸部は現在ありません。中村さんは、「毎朝、談話室に集合するのが仲間たちとの決まり。だから大学へは100%行っているのに、



中村 隆さん  
(十二回生)



北川 敦さん  
(十三回生)



工藤 真史さん  
(二十九回生)

ロマン・コンティのようなミステリー



助教授 高橋 真

映画は不思議なメディアである。一時期の衰退はあったものの、いまだに「トップスター」の風格を持ちこつけている。

もし、「このミステリーがすごい! 第1位」という帯がかかっていたら、この「フリッカー、あるいは映画の魔」をパラパラと拾い読みしても、この本はディテールに拘った映画評論書だと思ってしまうかもしれない。しかし、これは紛れもなくピンチヒューズの芳醇な味わいを持つ「ミステリー小説」である。

アメリカの大学で映画論を教える主人公が、二十歳くらいの時期に年上の女友達との関係の中で、不遇な生涯を終えた一人の無名のドイツ映画監督のことを知る。その映画監督について知れば知るほど深まっていく謎。その謎の先に見え隠れする意外な事実とは……

映像は基本的に光と影の連続した交叉である。そして光と影は人生の構成要素そのものであると思いついた時、あなたという観客の前で、このミステリーの真の幕が静かに上がるのだ。



セオドア・ローザック作  
「フリッカー、あるいは映画の魔」  
田中 靖 文藝春秋

「私はへたな人。あなたは?」



専任講師 日野隆生

の交渉力のなさが招いた結果であり、昔も今も、国内でも国外でも、成功者と呼ばれる人(例えばビルゲイツ)は皆すぐれた交渉力を持っていると言えよう。

本書は、「交渉の原理・原則」(総合法令一九九二年)を再編集し、改題されたものである。著者は、一九七三年、ハーバード燕京研究所の客員研究員として、ハーバードビジネススクールで「交渉学」の講座に接したところから、日本において「日本交渉学会」を発足させ、以来会長を務めており、私も数年前、当学会に入会させて頂いたことにより、藤田先生と本書に出会った。(そして私は「交渉のへたな人」と自覚することができました。)

それでは交渉とは何であろうか。交渉は「NO」から始まる。「折衝」「談判」は同義語といわれるが、学問的議論はさておき、交渉とは国際関係(例えば現在の「ガイドライン」問題)から各予算折衝、組織(企業)内外における仕事そのもの、家庭内の夫婦、親子、さらには友人関係など、あらゆる人間関係において成り立つものである。

つまり、どうしたら互いに利益をもたらすことができるのか。それだけの場面での方法とは異なるが、本書における交渉の原理・原則は、我々の日常生活の中で応用できるものである。



「交渉のうまい人 へたな人」  
藤田忠 三笠書房

読書は心の散歩道



島田まみえ

「本を読む」ことなど無関心な自分に、熱心に勧めてくれ、この本を紹介してくれた方がいました。愛読書のない自分にとつて唯一「読んだ本」がこの本なのです。

図書館を利用する自分に驚きつつ、本の居場所を発見し(図書館のお姉様に探していただいたのですが)読書をするようになりました。

始めはなかなかページをめくることが出来なかった自分でしたが、お風呂でのぼせてしまったり、朝方まで夢中になり、何とか読み終えることができました。こんな自分なので難しい字や言葉をよく理解できなかった部分もたくさんあったとは思いますが、ドキドキしたり悲しくなったり泣きたくなったり苦しくなったり…本を読むという人な気持ちになることを教えられました。まるで心の散歩道のように……

人の言葉や表現の仕方や感情の表し方などそれぞれ全く違ってくるものかもしれませんが、一つでも共感したり感じたりできるだけでも、自分にとつて勉強になるのではないかと考えるようになりました。

まだまだ本と接することの少ない自分ですが一冊でも多くの本を読みいろいろな事を感じてみたいと思います。



「氷点」  
三浦綾子 朝日新聞社

野球が大好き  
東大で応援団結成

●名誉教授 永野 彌三雄

現在七十五歳という永野先生、矍鑠（かくしゃく）としたその姿は、若い頃からスポーツに親しんできたから。永野先生の生まれた石川県富来町はテニスの盛んな土地柄で、先生も小学生の頃からテニスをしてきたそう。先生の小学生時代といえば、昭和初期のことです。「今でも大学の硬式テニス部の学生たちとテニスを楽します。ただ、ここ四、五年間は函館市史の編纂で忙しくてできませんでしたけど。若者たちとスポーツをするのが、健康を保つ薬なのかもしれません。」

さて、テニスと並んで好きなのが野球。父親の影響で、戦前からの巨人ファン。「沢村投手の時代からのファンですからね。巨人が負けると機嫌が悪いと家内に言われます。」

先生自身は野球の選手経験はないそうですが、戦後すぐ東大に入学してから寮の仲間と応援団を結成し、神宮球場に通ったそう。「当時、法政の投手だった関根潤三のきれいなフォームは、今でも覚えている」そうです。「今は、毎年プロ入りする若い選手がどう成長するかを見るのが楽しみです。野球も大学も、若者の育て方に共通するものがあると感じますね。いつまでもお元気でいてもらえよう、学生諸君は時々テニスのお相手をしてあげましょう。」

学内外で活躍する  
行動派の研究者

●教授 上平 幸好

生物学が専門の上平先生。「中学・高校で生物クラブに入り、そこでプランクトンの研究に興味を持ち、北大に進学して研究の指導を受けました。どんな生き物もそれぞれが大切な役割があり、そうした存在に光りを当てようと思ったのです」と言います。

その後も普段はあまり目に付かない生物に関する研究を中心に、論文・著作も多数。土壌動物の研究では、北海道では草分け的存在であり、また一昨年の秋には尾瀬の環境調査メンバーとして、無脊椎動物の分類・生態調査を行うなど、学外での研究活動も精力的。「僕の基本姿勢は、フィールドに出て実態を調べ、それを

30カ国以上へ  
行った旅行好き

●教授 佐久間 政弘

英語と教養ゼミでアメリカ文学を教える佐久間先生は、プライベートな旅行や通訳として帯同した旅行などを始め、行ったことのある国は三十カ国以上にのぼるそう。ヨーロッパ、南北アメリカの国々はほとんど回ったそうです。中でも思い出深いのは、「通訳としてペルーに行ったとき、ペルーには大富豪の天野という人がいて、私設博物館まで持っているのですが、実はその天野という人は函館出身なんです。自分が函館から来たことを本人に話すと大歓迎を受けて、地球の裏側で函館に縁のある人と会ったなんて、とても不思議な気がしました。」そんな佐久間先生の影響からか二

人のお子さんも、「娘は嫁いでサンフランシスコにいますし、息子も30歳を過ぎてからも一度勉強したい」と、現在アメリカの大学で勉強中」とのことです。

「国内も四十七都道府県すべて行った」という旅行の他に、趣味と言えなのが高校時代からのテニス。「終戦直後でしたが、軟式テニスでインターハイに一度出場しました。どちらか一回戦で敗退でしたが。そして六十歳を過ぎてから、硬式テニスを始めました。函館短大で週一回、硬式テニスの公開講座を受けはじめもう八年目」になるそうで、いつまでも若々しい雰囲気は、とても七十一歳とは思えません。

法学教授は  
最初医学部へ入学

●教授 清水 紘史

法学を教える清水先生は、「本当は歴史を勉強したかった」と言います。ではなぜ、法学への道を進んだか、その経緯がとても面白いので紹介しましょう。

旧制中学最後の卒業生となる清水先生は、「歴史を勉強したい」と親に言うのと「歴史で飯は食えない」と反対され、「法制史を学ぼう」と旧制第四高校（現金沢大学）に進学。ところが、教師に手違いで医学部に入学してしまいました。「でも、最初のウサギの解剖で気絶して、それで中央大学に入学し直した」そうです。大学を卒業した後も歴史への興味は続き、二十代の頃は吉川英治の『宮本武蔵』が好きでその物語の土地

を歩いたそう。そして「歴史は人間の様々な生き様や経験で、それを具体的ににしたのが法律だと思うようになった」と言います。

三十代は奈良仏教に興味を持ち、夫婦でよく奈良・京都へ旅行したそうです。「女房も僕の旅行に付き合ううちに仏像が好きになり、ミニチュアの仏像や旅先の絵はがきをずいぶん買っていました。」

その奥様も十四年前に他界。「女房が集めた絵はがきを、時折眺めることがあります。あの時、あの場所、二人で歩いた旅の思い出がよみがえってきます」と、目を細める清水先生です。

日露漁業関係史  
の第一人者

●教授 鈴木 旭

北大で水産経済学を教えていた鈴木先生は、函館大学に着任し七年目。長年、日露の漁業問題を研究し、函館市史編集委員として日露漁業の歴史をまとめた。昭和六十二年からはロシア科学アカデミー極東支部歴史学研究所（ウラジオストーク）と研究交流を行うなど、その方面では第一人者的存在。「函館は、日本で初めてのロシア領事館ができた、また北洋漁業基地として栄えたことから、ロシア関係資料は日本随一。私もライフワークとして、日露漁業関係史をまとめている」と言います。

また、函館日露漁業史研究会の会長というのも鈴木

先生のもう一つの顔。メンバーは研究者や市民など六十名くらいで、ウラジオストークの歴史学研究所と研究交流を行っています。「日本からロシアへ、ロシアから日本へ一年おきに行き来しています。こちらから行った場合の滞在費用はすべて向こう持ち。逆に向こうから来た場合は、滞在費はすべてこちら持ち。こうした交流を十年以上続けています。ロシア人は、とかく融通が利かないように思われがちですが、とても親しみやすい国民です。函館に来ると、焼き肉やラーメンを喜んで食べますよ」とのこと。「民間レベルの交流がもっと盛んになれば、わたがかりや誤解も消えると思います」と語ります。

だけに前理事長からの信頼が厚かったということでしょう。

「前理事長は、函館に初めての自動車学校や栄養学校、保育専門学校をつくったように先見の明があるのと、それは人のために、という自分の損得をまったく考えない人でした。私にとっては、本当に父親みたいな人でしたね。二人で温泉旅行に行ったり、思い出もたくさんあります。前理事長の教えは、私の体に染み着いているのかも。それを、若い人に伝えていきたい」と、今も教育に情熱を注ぐ鈴木先生です。

函大有斗高1期生  
学園の生き字引

●専任講師 鮫川 松五郎

鮫川先生は、今年開学六十周年を迎えた函館大学付属有斗高校の一期生。昭和十四年四月開学の函館計理学校（現有斗高校）に入学し、その後一時期を除いてずっと野又学園に関わってきた、いわば野又学園の生き字引のような存在。そして、学園創始者の故野又貞夫前理事長と、深い縁のある人です。函館計理学校卒業後、明治学院大学に進学したのも野又前理事長の薦めなら、昭和二十八年に函館有斗高等学校の教師として戻ったのも前理事長の強い要請から。この年野又学園の事務長も兼務。さらには昭和四十二年からは、函館大学の就職課を兼務していました。それ

を数的に把握し分析すること。部屋に閉じこもるのは嫌い」という行動派です。

学外ではその他、平成10年に函館市定住人口増加策懇談会の会長として「函館市定住人口増加策に関する提言」をまとめた。専門とは無関係に見えるですが「これも函館という都市の人口動態を調査・分析する、生態調査の応用」だそうです。

「子供の頃は昆虫少年で、生き物が大好きでした。結局、好きなことを続けることが自分を助けるのだなと今あらためて思います。学生にも、若いうちに早く自分の好きな分野を見つけてほしい」と一言。

## 論文名 取得時効と登記について

これは土地の取得時効について論じたもので、他人の土地を、自分の土地と思い込んで使用している場合が意外と多いのです。例えば、先祖代々の土地だと思っている、戦後の混乱期にその土地に住みついたなどですね。でも登記簿を見ると、登記名義人が他人だったりするケースがあるんです。だからといって何十年も自分の土地だと思っていたのを、いきなり返せと言われても困りますよね。そういう場合、長くその土地を使用していた者が所有権を主張できるかどうか、判例と学説の両面から見てみます。

先生の見解は？  
これには二つのケースがあって、土地の使用権と土地の名義人の間での争いになった場合は、「登記名義人に対して、登記なく占有していた者は、登記なくして権利を主張できる」。他人の土地であることは知らないで、平穩かつ公然に十年間を過ぎたら所有権の取得時効を主張できる、と民法の規定があり、判例も学説も一致します。ところが、第三者がその土地を取得し名義を移してしまつた場合は、使用者は「登記なくしては権利主張できない」となっています。しかし、これが判例・学説が分かれるところで、何十年も暮らしていたら既に時効で登記は必要ないという登記不要説と、登記がないのだから所有権は主張できないという登記必要説とがあります。私は、知らないでその土地に長く暮らしていたら、当然取得時効を主張できる。つまり、登記不要説をとりまします。これは、確信に近いですね。



助教授 永盛 恒男

## 論文名 商学部におけるプログラミング言語教育に関する考察

論文の主旨はどんな点にあるのか？  
主旨を簡単に言うと、商学部におけるプログラミング言語教育は、現在どういう状況であるかを考察したものです。それと、小中高に情報教育が取り入れられ、平成九年度の入学からは一応中学・高校で情報教育を受けた者たちです。そこで、中学・高校の情報教育と大学での教育の整合性を図るために、学生が中学・高校でどのような情報教育を受けたかを調査しました。しかし大きなばらつきがあり、商業・工業科の学生はパソコンに触れ学習したようですが、普通科の学生はほとんど学習していません。しかし学習と言ってもパソコン操作などが主で、大学で行う学問としての情報教育とは違うようです。



助教授 津金 孝行

## 論文名 コース・リレイテッド・マーケティングの概念と日本における必要性

まずコース・リレイテッド・マーケティング(CRM)とは何ですか？  
コースは「社会改善運動」と訳すことができます。それに関連したマーケティング、具体的には、売り上げの一部を非営利団体等に寄付するという形で、売上げ増と社会貢献を両立させようとするものです。日本の場合は、フィランソピーは利より徳を重んじ、儲けちゃいけないという意識があります。しかし、この不況下では利を求めないと社会貢献も難しい時代ですね。また、小規模の企業なども、CRMをプロモーション活動として行えば、売り上げ増と社会貢献を両立できます。

でも企業の中には、フィランソピーをやっています、とPRしているところもありますね。  
確かに、売名行為としてフィランソピーをして、その企業もありですが、それに対しては批判的な考えが多く聞かれます。でも、最初から売り上げ増を目的としたCRMの概念と言葉が定着すれば、そんな批判もないはずですね。CRMは、一九八三年にアメリカン・エクスプレス社が「自由の女神修繕キャンペーン」として、新規加入や利用額に応じて寄付したのが始まりと言われています。一九九〇年前後にフィランソピーという言葉がマスコミ等を通して浸透したことにより、企業の社会貢献活動が盛んに行われるようになったように、CRMという言葉が日本でも定着すれば、日本の企業はもっと社会貢献活動がしやすくなると思います。



専任講師 世良 耕一

## 会計学の本流を追究 ゲーム感覚でお金の流れを知る 会計学ゼミナール 助教授 若松 裕之



ゼミのテーマは、企業のさまざまな経営判断の際に、会計がどのように活用されているかを理解し、コンピュータによるさまざまな拡張を考察する。会計学の本流を学ぶと言つてよいゼミです。  
若松ゼミのユニークな点は、ゼミ生をグループ分けし、それぞれを会社に見立てます。そして、オモチャのお金を使って取引させます。「こうすると、お金の流れが目で見えるでしょ。会計とは、物の流れ、お金の流れを記録することです。それが目で見ると分かりやすくなる」と若松先生。「それとゲーム感覚を取り入れることで、学生の参加意識を強くするのも狙い」と言います。

## 三年のうちにプレ卒論 厳しさを学生をバツアップ 国際経済学ゼミナール 助教授 田部井 英夫

本学就任前はバリエーション豊かな経済学で学んだ田部井先生は、「学生には、僕のゼミは厳しく、縁遠い存在のようですが」と笑います。毎年ゼミ生は五人程度。人数が少ない分、一人ひとりの密度は濃いゼミです。  
三年次は、前期にテキストを輪読。学生一人が一章ずつ受け持ち、その内容をレジュメにまとめ発表します。今年のテキストはクルーグマンの「グローバル経済を動かす愚かな人々」です。そして後期が、厳しいと言われる理由のプレ卒論があります。「卒論のテーマを二年後期で決めて、八百字×十枚にまとめさせます。これが進級試験でもあります」とのこと。「四年になると就職活動が始まり、面接で卒論のテーマや内容を聞かれます。その時のため」



究極のマーケティングは  
自分をいかに売り込むか  
マーケティング論ゼミナール 専任講師 世良 耕一  
三年生の前期では、「マーケティング理論と実践」という本をテキストに、実際の企業で行った商品開発の事例を見ます。さらに後期は、マーケティング・リサーチの実践と分析法を学ぶため、学内の学生を対象にアンケート調査を実施します。

「昨年は、血液型・兄弟構成・出身地により消費行動に違いがあるかを調べてみました。質問内容ももちろん学生たちで考え、集計分析させます。結果としては、兄弟姉妹のいる人はその影響が消費行動に多少影響がありますが、血液型・出身地はほとんど関係ないですね。こういう調査は、学生たちも喜んでやっていますよ。」  
さて、世良ゼミでは最初に、学生の夢を作文にするそうです。「その夢を実現するために、どういう戦略を立てるか、つまり自分を売るためのマーケティングですね、それを一緒に考える」とのこと。卒業生の中には、テレビの仕事がしたいと言つて実際にテレビ制作会社に就職したり、卒業後に医者を目指し医大受験に挑戦している人もいます。



「現在の在学中にも、声優になりたいとかんばつてる子もいるし、歌手になりたいといつてインディーズのCDを出す子もいます。夢を持って、それに向かう、質問だけでなく一人ひとりの個性を大事にしたいと思つてます。」  
就職もマーケティングだ、という世良ゼミから、ユニークな個性がたつと出ることを期待します。

# 函

## 私の函館散歩

### 「志苔館跡」

専任講師 田中 浩司



国指定史跡・志苔（しのり）館跡は、函館空港と志海苔漁港の中間の高台に位置する。

この志苔館跡は、十五世紀の小林氏（南朝方の武士ともいわれる）の城館の跡と伝えられており、調査によって地形や建物の跡など、当時の様子をよく伝えていることが判明。そこで国史跡の指定がなされ、今では公園のように整備されている。この付近からは、珠洲焼と越前焼の甕に入った、およそ二十七万枚の中世の古銭が見つかるなど、大陸へもつながる、当時の函館をとりまく活発な交易の様子を示すものとして、学界の注目を集めてきた。

この高台の史跡から見える景色は、右手に函館山、正面には志海苔漁港、津軽海峡の海を望んで下北半島。左手には恵山の岬。まさに海に開かれた、すばらしい眺望である。この場所に立つと、中世に生きた人々が、何を見、何を考えてきたのかわか、などと想像力が豊かになってくる。

この志苔は、康正二（一四五六）年に、コシヤマインの蜂起のきっかけとなる事件がおきた地でもある。この事件・蜂起などの詳細は『函館市史』などにゆずるが、この時の道南の和入たちとアイヌの人々との抗争は、十六世紀初期まで続き、その頃、この館も廃館になったとされる。史跡の隣接地には、その戦いで亡くなった和人とアイヌの人々のための慰霊碑が並んで建てられている。

ここ志苔館跡は、この函館に展開してきたさまざまな歴史をかみしめ、厳しく豊かな自然・海を肌で感じ、美しい眺望を満喫し、自分のあるべき姿を考え、取り戻すことのできる、私のお気に入りの場所である。

いらっしゃいませんか、函館へ  
A Sketch of Hakodate

# 食館

## いい店 食べ歩き

美味しくてボリュームたっぷり  
しかも値段は良心的なレストラン

れすとらん なほ里

●海端 慶子（三）年 函大付属柏根高出身  
●岡本 義一（二）年 大隈理山学院（高出身）  
住吉街の中にある、いかにも家庭的なレストラン。開店七年目になるそうですが、広告は一切していないにも関わらず、主婦やビジネスマンたちの間で人気のお店です。その理由は、味はもちろんそのボリューム。「家族でやっているし、よけいな費用はかけず、安く美味しいものをお腹一杯食べてもらいたい」とオーナーは言います。



「すごいボリュームで、舌もお腹も大満足」と、このお店を紹介してくれたのが学友会執行部の岡本くん和海端さん。このお店の一番人気は



ハンバーグで、普通のお店のたつぷり二倍はあるビッグサイズ。これで八百円。冷凍肉は一切使わず、ジューシーな肉汁がきゅつと詰まっています。それに、赤ワインを入れた自家製ケチャップを使ったソースがおいしさを引き立てます。

また、オーナー自慢の牛タンシチュー（千五百円）は、自家製のデミグラスソースで煮込んであるので、柔らかなソースの旨味がしっかりと染み込んでいます。「このボリュームですが、美味しいから残さず食べられます。いつもは自家製のたまごにこめて、美味しいものをお腹いっぱい食べるのが楽しみ」と岡本くん。海端さんは「家庭的な雰囲気と気軽に食べられるし、値段も高くないし、学生には嬉しいお店ですね。」

「レシートもあって、日替わりの「なほ里弁当」（千円・一日三千食限定）が人気。毎日のように来るビジネスマンも多いとか。「うちは儲けようと思っていないから」というオーナーの優しい心が伝わってきます。

れすとらん なほ里  
函館市時任町29-21  
☎0120-06-6869  
営業時間／11:00～21:00  
定休日／毎週木曜、第1・第3水曜



## クラブ紹介

### 水泳部

二年前に同好会から昇格

水泳部は、二年前に同好会から部に昇格。それまで、水泳同好会と水球同好会があったのですが、それが合体して部になりました。主将の野館英範（三年・函館東高出身）くんは「僕は水球がやりたかったのですが、メンバーが足りなくて。でも、泳ぐのが好きだからみんな楽しんでやっています」。現在十一人（女子三人）の部員も「楽しみながら、健康のため」と、週一回の練習を続けています。

とは言っても、昨年のマスタース道南大会では、四〇〇mリレーを大会新記録で優勝。実力があります。ただ、函館大学に

### 陸上部

自己目標に向かってがんばっています！

現在十三人の部員はすべて男



プールがないため、函館短大のプールを借りての練習に、ちょっと肩身が狭いとか。それでも、函館短大からの入部者もいて、一緒に泳いでいます。「泳ぐことは健康にいいし、シェイプアップにも最適。ぜひ女子も、たくさん入部して下さい」という野館くんでした。



子で、一〇〇m～五〇〇〇mのトラック競技選手がいます。キヤプテンの有澤文秀（三年・帯広北高出身）くんは八〇〇mの選手。「八〇〇mは選手が少なから、大会でも優勝が狙えるかな、と思って」。主務の倉内英行（三年・秋田鷹ノ巣高校出身）くんは、五〇〇〇mで唯一の長距離選手。「自己ベストを縮めることが目標」と言います。

### 旅行同好会

毎年、春と夏に旅行を決行

現在、主将の林也寸彦（三年・東京足立学園高出身）が一年生の時に同好会を設立。部員は八人。普段の活動は、週一回集まって、仮想の旅行プランを話し合うそう。「旅行はプランを立てているときに楽しいし、それに地理や歴史の勉強になる」と言います。

実際に旅行するのは、ゴール

ただ部の悩みとしては、学内に陸上グラウンドがないこと。近くの見晴公園が、彼らの日頃の練習場。そして、道教育大のグラウンドや函館市の陸上競技場で練習をするそうです。「個人競技だし、みんな高校での経験者だから練習メニューは自分たちで作れますが、練習場がないのがやっぱり一番の悩みです」と有澤くん。それでも全員、自分の目標をもって頑張っています。



デンウィークと夏休みの年一回、部のモットーとしては、いかに安く旅行するか。だから、交通はJRが基本。部員の中には、鉄道マニアも多いようです。去年の夏は、部員が二人づつに分かれて、名古屋で落ち合うという旅行をしたそうです。名古屋までの旅程は、それぞれ自由。中には、東京で「泊野宿した」という部員もいます。

「学生時代にしか、こんな旅行はできないし、楽しい思い出をたくさん作りたい」というのが、部員の共通した思いのようです。



ハンドボール部、北海道学生リーグ125連勝25連覇35度目優勝！

平成11年5月21日現在

### 硬式野球部

●北海道六大学野球春季リーグ戦

平成11年5月2日～30日（江差町・旭川市）  
一部リーグ 3勝7敗 第5位

### ハンドボール部

●平成10年度高松宮杯男子

第41回全日本学生ハンドボール選手権大会  
平成10年11月17日～22日（名古屋市）  
ベスト16

●北海道学生ハンドボール春季リーグ戦  
5戦全勝 1部リーグ 優勝

最優秀選手 （4年）上田芳久  
優秀選手 （4年）高田雄弘  
優秀選手 （4年）市山貴一  
優秀選手 （4年）外口智久

外口くん（2年）・向谷内くん（2年）が全日本学生選抜候補に！

2000年にポルトガルで開催されるハンドボール世界学生選手権大会に出場する選抜候補選手に、函館大学から外口智久くん、向谷内祥元くんの2人が選ばれました。道内からのこの2人だけが候補入り。代表入りに向け、2人に大きな期待が寄せられています。



### 羽根球部

●1998年度第45回北海道学生

バドミントン会長杯争奪選手権大会  
平成10年11月11日～15日（苫小牧市）  
S三上直也（3年） 第3位  
S百瀬隆幸（3年） ベスト8  
S阿保安彦（1年） ベスト8  
D菅原彰通（2年）・阿保安彦（1年） ベスト8  
D三上直也（3年）・松本 謙（3年） ベスト8

●1999年度北海道学生

バドミントン春季リーグ戦大会  
平成11年4月27日～30日（江別市）  
（団体）1部リーグ 準優勝

●第23回函館地区

春季一般バドミントン大会  
平成11年5月2日（函館市）  
S百瀬隆幸（4年） 優勝  
S阿保安彦（2年） 準優勝  
D阿保安彦（2年）・阿久津秀徳（2年） 優勝  
D百瀬隆幸（4年）・田中 健太（3年） 第4位

### 軟式庭球部

●札幌スポーツ館杯

全道学生ソフトテニス選手権大会

平成10年11月6日～8日（江別市）  
D澤田圭佑（4年）・岡 宇知勇（1年） 優勝  
D菊地克仁（2年）・大野心平（2年） ベスト8  
D阿部清彦（3年）・向後圭介（2年） ベスト8

●北海道学生選抜

ソフトテニスインドア選手権

平成10年12月4日～5日（江別市）  
D澤田圭佑（4年）・岡 宇知勇（1年） 優勝

●春季全道学生ソフトテニス選手権大会

平成11年5月19日～23日（旭川市）  
（団体）1部リーグ 準優勝  
（個人）阿部清彦（4年）・岡 宇知勇（1年） ベスト4  
沼澤 徹（4年）・大野心平（3年） ベスト8  
吉田 誠（3年）・久根木誠（3年） ベスト8

### 卓球部

●全道新人学生卓球大会

兼中田杯争奪納会試合

平成10年12月3日～6日（札幌市）

【新人戦】

S玉手一成（2年） 優勝  
S佐藤哲郎（3年） 準優勝  
S関口幸治（2年） 第3位  
S山岸久記（3年） 第3位  
D玉手一成（2年）・関口幸治（2年） 第3位

【納会試合】

S田中良太（3年） ベスト8  
D田中良太（3年）・中泉 仁（3年） 第3位  
D佐藤哲郎（3年）・山岸久記（3年） ベスト8

●平成11年度春季全道学生卓球選手権大会

平成11年5月14日～16日（岩見沢市）  
（団体）1部リーグ 第3位  
（個人）  
S田中良太（3年） 第2位  
S関口幸治（2年） 第3位  
S玉手一成（2年） 第7位  
D田中良太（3年）・中泉 仁（3年） 第2位  
D佐藤哲郎（3年）・山岸久記（3年） 第3位  
D玉手一成（2年）・菱沼賢一（1年） 第5位

### 剣道部

●北海道学生剣道新人戦大会

平成10年11月8日（帯広市）  
（団体）第3位  
（個人）

立花 知之（2年） 準優勝  
堀井加奈子（1年） 第3位  
石津 豪（2年） ベスト8  
工藤 勇人（1年） ベスト8

●第45回北海道学生剣道選手権大会・第26回北海道女子剣道選手権大会

平成11年5月9日（札幌市）  
（個人）  
奥山訓史（4年） 準優勝  
立花知之（3年） 第3位  
樋渡貴志（2年） 第3位  
田村友鏡（1年） 第3位

### 硬式庭球部

●北海道学生選抜室内テニス選手権大会

平成10年12月8日～11日（札幌市）  
D古川雄亮（4年）・尾村 哲（4年） 準優勝

●全日本大学選手権北海道予選

平成11年4月22日～5月14日（札幌市）  
S鈴木晋太郎（1年） 準優勝

### ボウリング部

●第30回北海道東北学生新人選手権大会及び個人選手権大会

平成10年10月21～22日（山形市）  
（個人）  
小倉 崇（1年） 優勝  
平田和宏（2年） 準優勝

●第30回東北学生ボウリング連盟

秋季リーグ戦

平成10年11月4日～6日  
（団体） 優勝  
（個人）平田和宏（2年） 優勝  
●第31回東北学生春季リーグ戦  
平成11年4月23日～26日（青森市）  
（団体 中間結果） 第3位

### 柔道部

●都道府県対抗第15回全日本柔道大会北海道予選

平成11年5月5日（札幌市）  
澤田裕美（2年） ベスト8

### スキー部

●北海道学生スキー技術選手権大会

平成11年3月15日～19日（朝里川）  
（団体）25校中 第7位  
（個人）奥山 暁（2年） 第7位



## 初のインターンシップモデル事業に 函館大学からも学生2名が参加！

大学生などが、在学中に自らの専攻や将来の進路と就業体験するインターンシップが、本格化する動きが現れています。このインターンシップ制度は、文部・労働・通産の三省と大学・企業が共同で取り組んでいるもので、北海道でも「北海道地域インターンシップ導入促進連絡協議会」が発足し、今年初めて大規模なモデル事業が実施されました。

道内では十四の大学・短大から約百名が参加し、様々な企業で就業体験をしました。函館大学からは二名の学生が参加。その内の一

人、森本真弓さんにインターンシップの体験を聞いてみました。

●森本 真弓（二年・小樽商科大学出身）

インターンシップは、自分で参加希望を申請するもので、私の場合はコンピュータ関係の就職を希望しているの、実際に仕事の現場を見てみたくて応募してみました。希望通りコンピュータ会社で、二週間の就業体験をしました。

一週間の体験では、実際の仕事のお手伝いをしたわけではなく、企業の人にパソコンを教えてもらっていたのが実際のところ。でも、仕事の現場の中にいて、一人一人がプロとして仕事に厳しい姿勢を持っているんだなと実感しました。雰囲気はとってもなごやかなんです。

コンピュータは、大学に入学してから興味を持ったのですが、将来的にはSE（システム・エンジニア）になりたいなと思っていま



す。そのために、コンピュータ関連の授業を選択しています。まだ二年生なので、就職活動が本格化するの一年以上も後ですが、この体験でコンピュータ業界に絞りたいという気持ちが強くなりました。今は、パソコンを使うのが面白くて、学校のパソコンで高校時代の友達とEメールをやりとりしています。

## 人生の先輩から

### 人生の半分を決める就職をチャンスに 自己を分析し、自分と大学に誇りを持つこと



非常勤講師 蓮間 従道  
(財)東洋信託文化財団事務局長

学生の皆さんは、いずれ大学を卒業し社会人となります。そこで、就職について人生の先輩として一言述べさせてもらいます。

まず人生には、五つの節目があります。第一は出生、第二は入学、第三に就職、第四は結婚、そして第五が退職です。この中で、入学、就職、結婚は自分の意志で決められるものです。そう、学生の皆さんは、自分の意志で函館大学に入学してきたのですから、もう一度その点をしっかりと考えて下さい。

さて就職ですが、仮に二十二歳で就職し六十歳で退職するとして、雇用の流動

化はあるにしても三十八年間働けるわけですね。三十八年間、と言え、ほぼ人生の半分の期間に当たります。この人生の半分を決める就職を、安易に考えていませんか。就職はまさに、人生の大きな節目なのです。だからこそ本当に真剣に取り組んで下さい。

就職には二つの側面があり、一つは会社探しであり、もう一つは自分探しです。自分探しとは、自分の特徴・特技をしっかりと分析すること。会社探しは、その会社の歴史、将来性、業界内での位置づけ、社会への貢献度を分析することです。自己分析をする際、まず自己の特徴・特技を書き出して下さい。書くと考えがまとまります。

面接の時に大事なものは、二つの自信を持つことです。自分の特徴・特技を自分の言葉で話すことです。そしてもう一つは、大学への自信と誇りです。自分の大学の特色を自信を持って話すこと。函館大学では、現在十五名の企業人講師がいます。こんなに多くの企業人講師を招いているのは他大学にはない特色です。どういった企業から講師が来ているのか、「東北・北海道で産学協同による特色ある大学を目指す」という河村学長の口からもぜひ面接で話して下さい。

そして、新入生の諸君には函館大学の四年間で、自分に自信を持てるようにしっかりと学び、特技・特色を身につけ、学生生活を精一杯楽しむことです。そうすると、自ずと母校への自信と誇りも生まれると思います。就職は努力と運です。努力なくしては運を味方にすることは出来ぬものです。

## 著書紹介

### 『言い回しで学ぶ英語』

著者 教授 高月 晋  
1998年12月発行 同文館（1800円）



本書は、三年前に発行された『たとえで学ぶ英語』（丸善・インプリ）の続編とも言えます。「たとえ」と「言い回し」がどう違うのかと聞かれますと説明に時間が必要なんです。一種の比喩表現ということですね。僕は、どの言語でも、この比喩表現がいちばん奥深いものだと思うんです。

こうした英語の比喩表現を研究している理由は、実は高月先生には法廷通訳という一つの顔があり、「通訳をしていていちばん困るのが、この比喩表現」だそう。そこで、法廷通訳の記録をノートにとり比喩表現を集めたり、映画のシナリオなどからも比喩表現を拾ったりして本書をまとめたそうです。



「例えば、映画『アルマゲドン』の中に、娘が

父親に向かってこう言います。『鳥や蜂のことは知ってるわ』と。鳥や蜂、birds & beesですね。これはアメリカでは性教育のことを言っています。この話を講義ですと、あの台詞の意味がやっと分かりましたとレポートに書いてきた学生もいました。

またこの本のユニークな点は、自然現象、身体、動物、食べ物などのカテゴリーに分けて、どういう比喩表現があるかをまとめているところ。読みやすく、また辞書としても活用しやすいようになっています。さらに、この本に載っている比喩表現が使われた、英検や通訳ガイド試験の出題例を掲載しています。「これはきっと、国内では初めての試みだと思いますよ」。通訳をしていていちばん苦労する、と言いつつ高月先生ならではのアイデアと言えます。

### 『生命の組織論』

著者 助教授 藤嶋 暁  
1999年2月発行 白桃書房（2200円）



「本当は、中学・高校の英語で、こういう比喩表現を取り入れると、もっと英語を楽しく学べると思うんです」。このシリーズには、まだまだアイデアがあるという高月先生。次の本が出るのも、そう遠くないかもしれません。

●高月先生の既刊本  
『たとえで学ぶ英語』  
丸善（1998年8月刊）  
『英検合格への道』  
アド北海道（1995年1月刊）  
『下級英和表現研究活用辞典』  
アド北海道（1995年刊）

今年二月

に、自著として三冊目となる『生命の組織論』が発刊となった藤嶋先生。この大学に着任して五年間で三冊。本日は、一年一冊と学長に言われているのですが、なかなかノルマを果たせなくて。私も以前は企業に勤めてましたから、生産性を上げないといけないなと思ってるんです。

三冊の著書とも、約三十年間の会社員としての経験が土台となっていて、「企業とは、組織とは何なのか」というところが、研

究の出発点であるようです。「企業や組織を、私たちはつきりとした存在であることを前提としているわけですが、実は曖昧であるという認識に立つた方が、いろいろと判断しやすいのではないかと。それを書いたのが最初の本、『曖昧の科学化』です。では、曖昧であるなら何らかの解決策が必要で、そのひとつが個人の創造性です。個人の創造性、ひらめきを心理学的観点から分析したのが二冊目の本ですね。そして今回の三冊目では、グループによる解決策を試みたわけです。

『生命の〜』という書名の「生

命」には、どういった意味がこめられているのでしょうか。

「組織には、生きている（成長する）組織と、死んでいく（衰退する）組織があります。私のビジネス経験からしても、会社は一生懸命生きていくようにしているんだなと実感できるのが嬉しいわけです。じゃ、会社や組織が生きているってどういうことなのだろうかと考えてみたのです。最近では生命科学が進んで、プリオンが散逸構造という理論でノーベル賞をとったのですが、この散逸構造を組織論に当てはめると非常にしっくりきたのです。ですから、他大学の物理学の先生に取材したり、自然科学の本を読んだりして、一年以上も準備をしました。ま、詳しい内容は、全国の書店に売ってますので、買って読んでいただきたいと思います。

今後、一年一冊の目標を果たせるか、藤嶋先生の著作活動に乞うご期待。

●藤嶋先生の既刊本

『曖昧の科学化』  
函館大学北海道産業開発研究会  
研究叢書第7巻（1995年9月刊）  
『経営の創造性を科学する』  
中央経済社（1997年8月刊）



# INFORMATION

## 平成11年度函館大学公開講座予定

内容	開催時期	定員	講師
郷土の歴史・文化講座	7月3日	50名	高田嘉七 (北方歴史資料館館長)
英文学講座	7月9・10日	30名	宮崎政孝 (本学教員)
異文化講座	9月3・4日	50名	スコット・ハーディ (本学教員)
市民教養講座 (落語講座)	10月17日	100名	林家一門 (林家源平師匠、林家新平師匠)
文化講演会	10月～12月	480名	未定
市民教養講座	11月	30名	大江田清志 (本学教員)
パソコン講座 (二回)	12月	30名	本学教員
パソコン講座 (二回)	翌年2月	30名	本学教員



吉村作治氏 (早稲田大学教授)

なお、確定した日時に関しましては、その都度、チラシ、「ステップ・アップ」、北海道新聞、NHK「ほっからん」等々を通じて事前にお知らせ致します。

昨年度までの海外事情講座に代わり、今年度から郷土の歴史・文化講座が始まります。北方歴史資料館・館長高田嘉七氏に、NHKで来年初五回にわたって連続ドラマ化される「高田屋嘉兵衛」の人となりについてお話し頂くことになっております。その他、市民のニーズが極めて高い市民教養講座「パソコン教室」、「落語講座」は、従来と異なり継続したいと思っております。本年度も皆様、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

## 公開講座内



## 平成十一年度公開講座のご案内

●公開講座実施委員長・助教授 田部井 英夫

「地域に開かれた大学」をめざす本学では、関係機関や学園各校との協力を賜りながら、多種多様な公開講座を開催しております。平成十一年度の公開講座の企画がほぼ決まりましたので、左記の通りお伝えいたします。

## 学友会だより



●総務局長 八木 健児



私たち函館大学学友会執行部は、総務局、文化局、体育局の三局と大学祭実行委員会と連携して活動しています。学友会全体の総括を行い、文化局、体育局は各クラブの活動がスムーズに実施されるための潤滑油として支援し、統括す

## 【教職員異動】平成十一年四月二日

### ◆学内異動

専任講師・助教 津金 孝行  
専任講師・助教 山田 康夫

### ◆退職

教授 大野 和雄  
図書館課長 川島 孝夫

### ◆任用

青森県連絡事務所長(東) 佐々木恒朗  
青森県連絡事務所長(西) 齋藤 彰  
新潟県連絡事務所長 夏川 千工  
愛知県連絡事務所長 神谷 誠  
図書館課長 小澤 勲

## 【訃報】

函館大学名誉教授 神田弘先生(78歳)

が去る4月28日、汎発性血管内血液凝固症のため急逝されました。先生の功績を偲びつつ、心からご冥福をお祈り申し上げます。先生は、1945年、京都帝国大学を卒業され、農林省を経て、68年本学に就任、教授として学内要職を歴任、84年退職、同年名誉教授。86年から函館大谷女子短期大学長、公職多数。84年に函館市功労者、98年に函館市文化賞を受賞されました。

〈台座〉

## 教養講座・健康講座

本学の特徴の一つである企業人講師から、まさに「今」のお話を紹介する「教養講座」。また「健康講座」では、気になる身体やこころの健康についてのお話を紹介します。

### 教養講座

## 情報は発信者と受信者の相互関係により成り立つ



客員教授  
日本経済新聞社論説委員  
吉野 源太郎

「マスコミ情報論」と題し、半年間講義をさせてもらったことになりました。現代は情報化社会と言われ、「情報」という言葉が流行語のようになっていますが、「情報」とは正確な定義ができないほど広い意味が含まれます。試みに学生たちにアンケートをとったところ、「情報」と聞いて連想するものとして「インターネット」、「コン

ピュータ」と答えた学生が大半を占めました。しかし、ここで認識しておかなければならないのは、「インターネット」「コンピュータ」は情報の伝達手段・媒体に過ぎないと言っています。

大切なのは、何がどの様に伝えられ、そこにとどの様なニーズがあるかを読みとることです。当然、情報を発信する側は、それを求めている人がいると判断するからこそ発信するわけです。そうした情報の発信者と受信者の基本的な関係を理解することが大事なのです。特に函館大学のように文系学部の学生は、工学系ではないのですから、「コンピュータ」を使えることが

### 健康講座

## 中年層に多い突発性難聴 三分の二が完全に回復しない



函館五稜郭病院  
耳鼻咽喉科長  
小島 正

耳鼻科の病気で、近年増えているのが突発性難聴と言われるものです。この病院でも、年間二十、四十人が入院しています。そして、その患者は二十、五十代に多いのが特徴です。

情報を理解することではなく、情報の持つその意味や目的を理解してほしいと願っています。また情報は、その時々、社会情

勢やマーケットの変化によって、メッセージが変わってきます。マスコミは、その最先端を追うものですが、受信者側もメッセージの変化を、そしてその先にある世の中の変化を読みとることが重要なではないでしょうか。

現代は、まさに情報の洪水の中にあり、見るもの聞くものがすべて情報と言えます。こうした時代にあつて、私たちは自分と世の中の関わりをしっかりと認識し、それを基本軸に自分にとって有益な情報かどうかを取捨選択することが大事だと思っています。

## 中年層に多い突発性難聴 三分の二が完全に回復しない

この突発性難聴は、なんの前ぶれもなく突然耳鳴りがして、耳が聞こえにくくなってしまいます。しかも、原因が特定できないという非常に厄介な病気です。また、耳鳴り、難聴のほか目まがいがある場合としない場合があります。耳は、聞くという機能のほかに平衡感覚をつかさどっているため、平衡感覚を保つ三半規管に異常があると目まがいがあります。耳鳴り、

難聴、目まがいがあると、かなり重い症状だと言えます。多くの場合は一側性片側で、両方の耳が突発性難聴になることはあまりありません。

気を付けなければならないのは、突然耳が聞こえづらくなったと感じても、そのうち治るだろうと放っておくことです。症状が出てから、二週間以内に治療を受けた場合とそうでない場合では、回復する率が大きく違います。と言っても、突発性難聴の患者の約三分の一は聴力が回復しますが、三分の一はある程度までの回復、そして残り三分の一は回復しないというのが実情です。発症の原因がはっきりしていないため、治療法も確定していません。そのため、北海道では特定疾患という難病に指定されています。

急性の耳の病気で代表的なのはメニエール病ですが、実際にはあまり例は多くないのです。これは回転性の目まい、耳鳴り、難聴の発作が同時に起きるのが典型的な症状です。突発性難聴との見分けは難しいのですが、メニエール病は発作が反復します。いずれにしても、命に関わる病気ではないので、もし突然にそういう症状が出たらすぐに病院へ行って診てもらった方が何よりも肝心です。

る役割を担っています。

大学祭実行委員会、その名の通り、大学祭の計画から運営までの全てを担当しています。平成十一年度の計画はすでに構想から実現へと具体的な内容検討に入っています。皆さんの手による若さあふれる大学祭にしてください。学友会本来の目的は、「クラブの活性化をバックアップすること」に、クラブ間の交流を促し、学内全体を盛り上げていくというものです。当初、私たち執行部のチームワーク不足もあり、十分に力を出せませんでした。が、気力一新して頑張っています。主として、体文両局の企画、ホームページの拡大、学友会誌「臥電」の作成、リーダー研修会への企画立案、中央委員会への資料作成、大学祭の企画の立案ですが、これらの実行に当たり執行部一同精力的に、任期満了まで汗を惜しまず駆けまわります。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

# 函館自動車学校

(財) 函館自動車学園 函館市川原町19番20号 ☎ (0138) 55-2222



板東誠一理事長



その他、毎年、市内の小学校入学生へ文房具の寄贈。小学生への自転車教室、中高生への

「平成十三年には開校五十周年を迎えます。それを機に、設備の拡充や記念事業などを行い、さらに地域に貢献できるようにしたいと考えています」と板東理事長。

函館で最も伝統ある自動車学校として、大きな信頼を得ています。



約2万m<sup>2</sup>を誇る敷地は、道内有数の規模。

## 道南初、北海道でも二番目の自動車学校として開校

函館自動車学校は、昭和二十六年七月、道南では最初、北海道でも二番目の自動車学校として開校しました。創立者は、野又学園の初代理事長である故・野又貞夫氏です。

その後、財団法人(公益法人)

株式会社オーディンフーズは、宅配ピザ「テン・フォー」を中心に、ピザレストラン、和風レストランを展開しています。しかし何と云っても、メイン事業は宅配ピザ「テン・フォー」です。平成二年に函館の地で創業。翌年「テン・フォー」の店舗はわずか十三店舗でした。それからわずか七年間で、北海道から九州まで百六十店舗を超えるまでに広がり、売上高は七年間で十八倍超という成長ぶりです。

この成長の要因は何かを、代表取締役・長谷川英直氏に尋ねてみました。

「日本で宅配ピザチェーンがたふさんありますね。私も後発になるわけですが、日本におけるピザを見直してみようというところからスタートしました。まず、



▲代表取締役 長谷川 英直

ピザの適正価格とはどのくらいなのかを追及し、コストをできる限り抑え価格を下げた。それから、日本人の味覚に合うよう、独自の味を追及した。また、既存のピザが若者をターゲットにしているのに対して、子供からお年寄りまで食べやすいピザにし、そして個食にも対応できるようにした。それもこれも、日本におけるピザを、根本から見直した結果です」。

さらに続けて

「当社にとつては、時代の風がフオロの風になっていく。それをとらえることが成長の最大の理由ではないか」と言います。「不況が長引く中、テン・フォーの値頃感が支持され、雇用が不安定な状況によって大企業志向だったいい人材が来てくれる。そうした悪いといわれる状況が、たまたま当社にとつては追い風になっているのだと思います」。



北海道から全国展開している数少ない企業でありますが、その精神は？ 「北海道の企業は、地場産業という意識が強すぎるのではない。市場をもっとマクロ的にとらえ、その中でちゃんと競争する。市場競争意識が弱いから、消費者ニーズを素早く取り入れられないのではないのでしょうか。マーケットは、消費者である全国民なんですか」。

では、これからの時代、望まれる人材とは？ 「やはり、皆さんそれぞれで知識を得ているわけですね。その知識を、実社会で知恵に変えられる人を望みます。知恵とは、壁にぶつかって、それを乗り越えるために努力・工夫してはじめて身に付くものです。頭と身体が一致しないとダメだと思います」。

